

子連だより

No. 121



第四十九回関プロ子ども会育成研究協議会

「育てよう！未来を担うたくましい子どもたちを」

一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会 副会長 桐生正栄

日本三名園のひとつ偕楽園と納豆で有名な茨城県水戸市において関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会が十月二日～三日の二日間開催されました。三百九十余名の参加者及び大会委員の参加があり、本県から十七名の子ども会関係者が参加しました。オープニングセレモニーの那珂湊第一小学校児童による伝承芸能発表「磯節」、「網のし唄」、「三浜盆踊り」などの唄や踊りとお囃子で始まり盛大に開会式が開催されました。今回の研究協議会は「育てよう！未来を担うたくましい子どもたちを」スローガンに四つの分科会に分かれて研究協議が行われました。第一分科会は「リーダー養成研修について」、第二分科会は「地域の諸団体との連携協力」、第三分科会は「子ども会活性化に向けた連合会事務局の取組み」、第四分科会は「文化活動、少子化への対応等地域に根ざした活動」でした。私は第二分科会に出席し、茨城県境町と熊谷市及び神奈川県湯河原町のパネラーの発表の後、その事例を参考に、それぞれの

地域に根ざした諸団体（町内会、女性団体、高齢者団体、NPO、大学等）との共催・協賛事業の取組み等について、神奈川県、静岡県、山梨県、千葉県、群馬県、茨城県の方々と各県の事例も参考に活発な意見交換及び研究協議を行いました。二日目は、聖徳大学名誉教授 福岡強先生より「地域に輝く子どもたち」可能性を広げる大人の役割」と題した記念講演がありました。その中で青少年の当面する課題として青少年の成育環境の変化（物質的豊かさ、核家族化、都市化、テレビやマスコミの影響）や欠損体験（基本的生活習慣、自然体験、共同・協働生活、社会参加等の少なさ）は、大人の役割として重要で、子ども会活動が重要な役割を果たしている。子どもたちが地域やまちづくり活動等に参画する意義については、子どもも市民のひとり、「ミニティー」の形成に青少年の新鮮な知恵や発想を生かし、効果的な子どもの教育の場としての子ども会の必要性



について話しておられました。閉会式で中川輝夫関プロ会長より「今やらなければ、（会員の減少についての策を）、（子どもの重要性を保護者の皆様にどう伝えていくか）各県に戻って実践して頂ければ、それが茨城大会のすべてであります」と結ばれ、その後、大会旗が次年度開催の神奈川県へ引継がれ閉会しました。最後になりましたが、関プロ育成研を通して他県の関係者と交流できたことに、茨城県のスタッフの皆様から感謝申し上げ、大会の報告と致します。



豊かな感性を育む大自然の中での体験活動 小・中学校三県交流事業「尾瀬子どもサミット」に参加して

新潟県教育庁下越教育事務所

社会教育課

副参事

本間 道夫

一 はじめに

平成二十八年七月二十六日から二十九日の三泊四日で、群馬県片品村の尾瀬ヶ原で「尾瀬子どもサミット」が開催されました。これは尾瀬をとりまく三県（群馬県・福島県・新潟県）の小・中学生を対象とした事業で、尾瀬を通して環境問題に対する認識を深め、次の世代を担う子どもたちの新しい自然観等を育成するとともに、児童・生徒の交流やふれあいを図ることをねらいとしたものです。今年は各県から小学五年生から中学三年生まで二十名ずつの参加がありました。

二 大自然を舞台にした フィールドワーク

二日目と三日目の午前中は、各班十名ずつに分かれ、観察リーダー（地元の観光ガイド）の案内で尾瀬の自然を学びました。今年は、温暖化の影響からか、植物の開花時期が例年より早く、思ったより花の種類は多

くありませんでした。ヒツシグサやオゼコウホネ、ハッチョウトンボなど、尾瀬ならではの動植物についてやシカによる環境被害など、子どもたちは観察リーダーのガイドの説明に熱心に聞き入っていました。普段の生活では目にするこのできないこれらの自然に自分の目や肌でじかに触れ、確かめることは、子どもたちの感性を育むためには貴重な体験だと感じました。



三 異学年で過ごした生活体験

参加した子どもたちは、班ごとに分かれて食事・入浴など、三泊四日を共に過ごしました。その日初めて出会った子どもたちは、すぐに仲良くなりましたが、二日目くらいになると、あちこちで小さなトラブルが

発生します。普段大勢で何日も行動したり宿泊したりする経験はあまりない子どもたちですから、どうしても時間の経過とともに個人個人のわがままが出てしまいます。お互いが我慢したり譲り合ったりすることがなければ、気持ちよく生活することはできないということを身をもって体験できたことは子どもたちにとって、貴重な経験となったことでしょう。

四 主体性を育てる全体発表会

三日目の午後からは、全体発表会の準備を行いました。各班で班長を中心に発表の原稿を作ったり、発表の仕方に工夫を凝らし、自分たちでリハーサルを行ったリして準備を進めました。全員が必ず発表するという



約束の下で、実際に自分たちがフィールドワークで体験したことを発表するため、他人任せにすることはできません。一人一人が真剣に発表準備をする姿が印象に残りました。一人一人に責任を持たせるとして活躍の場を設定することが子どもたちの主体性を育むことにつながっていくのだと思います。

五 終わりに

三泊四日の「尾瀬子どもサミット」は、大自然の中で子どもたちを一回りも二回りも大きく成長させてくれました。テレビもゲームもない中で生活は不便な面もあったと思いますが、また、自分の思い通りに行かないことも多かったでしょう。しかし、大自然との触れ合いや異学年での集団生活など、普段の生活ではできなかった皆さんのことを経験することができたと思います。これらの経験は必ず子どもたちの感性を豊かにしてくれるものと確信しています。



上越地区

大収穫だった
じゃがいもほり上越市板倉区稲増子ども会
六年 笹口 茉央

八月八日に、子ども会の行事でじゃがいもほり体験をしました。その日は、とても天気がよくて気温も高く、とてもあつかったです。二年生から六年生の十七人と、大人の人们で協力してやりました。じゃがいものくきをぬいて、根っこについているじゃがいもとってから、土の中にうまっていたじゃがいもをさがしてほりました。土の中には、たくさんのがいもがうまっていました。形もちがうし、大きさも全然ちがいました。中には、雪だるまのような形のじゃがいもありました。顔の半分ぐらいの大きさのものや、ピンポン玉ぐらいの小さなもの、いろいろな形や大きさのものがあつておもしろかったです。また、土の中には、ダンゴムシやミミズなどの虫がたくさんいました。なので、ここの土はいい土なんだなと思いました。だから、大きいサイズのじゃがいもも育つんだなと思いました。スーパー袋十五袋ぐらいの量のじゃがいもがとれました。収穫したじゃがいもは、集落センターにもって行って、ふかし



ました。ふかしたじゃがいもを、バターやマヨネーズ、塩をつけて食べました。ふかしたばかりだったので、とてもあつくてほくほくしていました。私はマヨネーズをつけて食べました。とてもおいしかったです。たくさんふかしてあつたので、たくさん食べました。塩もつけて食べてみました。塩もおいしかったです。また、来年もじゃがいもほりをやるそうです。私も、私は今年で卒業するので、来年も、今年の五年生や新しく入ってくる一年生たちで、大きなじゃがいもをたくさんほって、たくさん食べてもらいたいなと思いました。今年はとてもいい経験になりました。

中越地区

楽しかった
サマーナイトスクール三条市柳川新田子ども会
六年 大山 柊

今年は、ぼくにとって最後のサマーナイトスクールでした。ロケット作りと飯ごうすい飯を体験することができました。

ロケット作りでは、ロケットの羽



をカッターで切り、ペットボトルにホッチキスで止めるところに苦戦しました。でも、友達のお母さんに手伝ってもらい、すごく上手にできました。出来上がったロケットを飛ばすのに、空気を入れる機械と水を使いました。ぼくは、二回中一回とも全く飛びませんでした。でも、中には、六十メートル飛んだり、ものすごく高く飛んでいる人もいました。その光景を見て、水と空気のおかげで、ここまで飛ぶのかとびっくりしました。また、身近にある物で、一からおもちゃを作る事はあまり



ないの、とても貴重な体験でした。手作りの楽しさを改めて感じました。

飯ごうすい飯は、毎年六年生が担当します。ぼくは、飯ごうを間近で見ると、初めてだったし、作るのも初めてだったので分からないことだらけでした。でも、教頭先生や役員の方に手伝ってもらい、上手にできました。たいているときは、火の調整や木を入れるタイミング、そしてこげないかなどが心配でした。たき上がったお米を見ると、こげは少しあったけど白いふくらみご飯になっていました。初めてだったけど、上手にできおもしろかったです。お母さん方が作ってくれた、カレーや貝だくさんのとんじりもおいしかったです。みんな食べる夕食は、すごくすくおいしかったです。

サマーナイトスクールのき画してくださった役員や先生方、ぼくたちに楽しい思い出を本当にありがとうございました。

下越地区

ミニ運動会

胎内市西本町子ども会

六年 兼田 笑花

「よいーいスタート!!」の声が聞こえた。バランスじゃんけんの始まりだ。平均台の両はじから、赤組・白組の子どもたちがスタートし、相手と出会ったらジャンケンをして、勝ったら進むという競技。

「頑張れー!!」応援の声の中、二回目の私の順番がきた。(よし、行くゾ)。「ジャンケンポン。」(勝ったあー)。「ジャンケンポン。」(勝ったあー)。「やったあー!!」。「行け!行け!」私の気持ちと同様に応援も盛り上がってきた。「ジャンケンポン!」(勝ったあー)。(あと一人で平均台のはじ、ゴールだ!絶対勝つゾ)緊張しているけど、足は前へ進む。その時がきた。



らうまくそうさできて、ペットボトルをたおすことができましたからです。とてもたのしかったですので、来年もまたさんかしたいなと思いました。

応援が最大の中「ジャンケンポン!!」……「やったあー!!」。(勝ったあ!!)「イエーイ!!」喜びの声の中、私は笑っていた。皆と喜べたことが、一番嬉しかった。

たのしかった、のうりようさい

胎内市西本町子ども会

二年 阿部 冬祈

八月六日、西本町のうりようさいにさんかしました。のうりようさいには、水ふうせんキャッチコーナーや、ラジコンゲーム、わなげ、水ヨーヨーつりをしてあそんだり、かきごおりやシユース、やらにゃんやきを食べたりしました。ぼくがーばんたのしかったのは、ラジコンゲームです。どうしてかと言うと、はじめは、うまくそうさできなかつたけど、コツが分かつたらうまくそうさできて、ペットボトルをたおすことができましたからです。とてもたのしかったですので、来年もまたさんかしたいなと思いました。

佐渡地区

平清水の

清水かえに

参加して

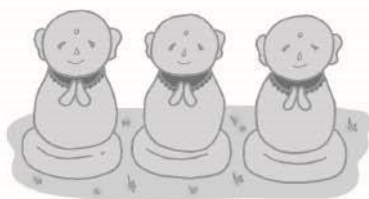
佐渡市平清水子ども会

五年 今泉 千代

七月の末、平清水子ども会の行事で、私は平清水地区の「清水かえ」に参加しました。

「清水かえ」は平清水地区にあるびしゃもんどうのきれいな水のまわりを、地いきの人たちが整理する行事です。主に男の人たちが草かり機を使って草かりをし、女の人たちは草かりがまだ、木のまわりなど細かいところを整備し、子どもは大人の人たちがかつた草を集めて運びます。とても草集めはたいへんでした。そのためずっとまじめに作業しているかというところではなく、作業の手をとめて私は、友達と遊んでしまいました。作業が終わると参加者のみんなは、飲み物とパンをもらいました。私のもらったパンと飲み物は、カレーパンとメロンパン、それからコー

ヒーでした。参加者のみんなのもらったパンと飲み物はそれぞれちがうので、みんなでもらった飲み物とパンを見せ合いながら楽しくお話ししながら、おいしくいただきました。作業が終わったあとの、みんなで食べたパンと飲み物は、特別にうれしく感じました。



平成二十八年度

第二回中学生・高校生

ジュニア・リーダー中級研修会

・期日 平成二十八年七月二日(土)～三日(日)
・会場 国立妙高青少年自然の家

初めての研修会で

学んだこと

柏崎市 中一 前澤 啓人

僕は、Jし中級研修会に初めて参加しました。

今回の研修会で一番うれしかったことは他地域の友達がたくさんできたことです。僕は、小学校の頃からJし養成研修に参加していて、他の学校の友達をつくるのはとても好きでした。なので他地域の友達をつくるのは意外に簡単でした。

友達とうまくやっていくには、お互いが協力していくことが大切だと思います。今回の研修会のように大勢の仲間が集まる場合は特に、自ら考え、お互いが協力して活動することが大切だと思います。

研修会では様々な活動がありました。特に楽しかったのは、野外炊飯でやった「火おこし」です。木材をどんどん入れ、風を送り、火をおこしました。カレーはうまく作れませ

んでしたが、ここでも協力は大切だなと思いました。

今回の研修会で学んだことは全て今後の活動に役立てていきたいと思っています。そしていいリーダーになろうと思います。最後になりますが、講師の方、指導してくださった方、ありがとうございました。

中級研修に参加して

柿崎区 高一 小関 杏果

私は今回、初めて中級研修に参加しました。なので最初の方は、ほかの区のリーダーの人たちとなじめずになかなか自分から動けずにいましたが、交流していくうちにだんだんと打ち解けてたくさん仲間と協力することができました。

今回の研修では、自分自身や自分たちの地区のジュニア・リーダーの活動を振り返って、まだまだ足りない所や、もっと改善できる所を考えることができたし、ほかの地区の

リーダーの人たちの活動を聞いて、自分たちにはなかった新しい活動を知ることができました。

私たちの地区のジュニア・リーダーの人数は、そんなに多くはないけど徐々に人数もふえつつあります。なので今後の活動をもっとより良くするために、今回の研修で学んだことを、これからのジュニア・リーダーに入ってくる人や、一緒に活動している仲間と共有し合って意見を出し合い、今後の活動をがんばって行きたいと思っています。

中級研修に参加して

板倉区 中三 小林 未流

私は、今回中級研修会に参加したのは二回目でした。

主に印象に残っているのは、KYTを考えたことと、野外炊事です。

KYTでは、紙を使って、危ない場所を考えた指差し確認をして、改めて探す、身近にもたくさんあ



ることが

分かり、気を付けなければいけないなと思いました。危険を無くすのは無理だけど、事故にしない

ようにするのが大事だという言葉がとても印象に残っています。野外炊事では、食器を汚さないようにしてカレーを作ることや、普段やっていることより大変で、ラップが他の所にはりついたりしてやりづらく、カレーもスプーンのように、普通のものとはちがいました。災害時はこのような物がしかたないのかなと思います、大変なことを知りました。

中級研修を振り返って

板倉区 中三 畔地 尊

私は、中級研修に行くのは初めてでした。最初は、うまくやっていけるか心配でした。ですが、周りの人がたくさん話しかけてくれたのでうまくやっていけました。

この中級研修でたくさんのお話を学びました。特に、印象に残ってい



るのは二つです。

一つ目は、他の地区の活動を知ることができたことです。板倉ではできない活動、その地区を元気にする活動があり、とても勉強になりました。

二つ目は、KYTです。このKYTで大切なことは声出し、指差しというのを初めて知りました。そしてこれから活かしていきたいです。

最後に、たくさんの人たちとふれあうことができ、学ぶことができました。これから学んだことを忘れず頑張りたいです。

初めての

中級研修に参加して

板倉区 中三 片所 大地

僕は、今回初めて中級研修に参加しました。参加した理由は、ジュニア・リーダーとして小学生たちを守った

り、安全を確認したりすることや学びたいと思ったからです。

今回の中級研修でKYTなどのこ



とをしつかり学べました。自分たちの意見を班ごとに発表する時は、僕が班長だったので班のみんなをまとめることができました。

二日目にはキャンプファイヤーがありました。班ごとに決めたゲームをしてみんなで楽しむことができました。

最後に野外炊事がありました。みんなで協力して準備をしてカレーを作りました。暑くて疲れたけど楽しくすごせました。

今回学んだいろいろなことを今後の活動に活かしていきたいと思います。

中級研修に参加して

頸城区 中三 笠原 綜司

私は、今回二回目の中級研修会に参加して、一回目と比べて実際に体験することが出来たので良かったです。

私が今回の中級研修会で学んだ事と良かったと思った事は三つあります。

一つ目は、他の地区のジュニアリーダーの人と仲良くなれた事です。その地区のイベントの話など聞くことができてとても良かったです。

二つ目は、KYTについてです。まずKYTでは、いついかなる時でも危険はすぐ周りに潜んでいるという事と、自分たちのこころなら大丈夫

といった

気の緩み

で事故故

に繋がる

という事

を、改め

て実感し

ました。

最後に

二日目の

野外炊飯

で一日目

に教わったKYTを活かして、怪我

に注意してカレーを作る事が出来た

のでとても良かったです。

この二日間で学んだことを活かして

今後のジュニアリーダーの活動に

生かして、子どもたちをひっぱって

行けたらいいなと思いました。

中級研修会に参加して

頸城区 中二 山田 愛美

私は、今回の中級研修会の参加は三回目でした。私が印象に残った講義は、二つあります。

一つ目は、キャンプファイヤーです。キャンプファイヤーでは、班ごとで考えた、レクをしました。普段の子供会でもたのしめるレクがあったので、いろいろな活動に生かしていきたいと思いました。

二つ目は、野外炊事です。野外炊



事は、これまでもやった事はありませんでしたが、いままでとは違うやり方でした。洗いや物を少なくするために切った野菜などを袋に入れたり皿の上にビニール袋などをひいたりして新しいやり方を知りました。

今回の研修では、一、二回目とは違う講義を受け今後にもいかしていける活動もたくさん知りました。

中級研修で学んだこと

頸城区 中二 水澤 葵

私は、今回で中級研修会の参加は三回目でした。

私は、この中級研修会で学べた事は二つあります。

一つ目は、KYTです。KYTは普段の日常生活でも、よくあることなので、これからの行事でも小学生などの、小さい子たちにも注意できるように自分も気をつけていきたいです。

二つ目は、野外炊事です。野外炊事のカレー作りでは、包丁や、火を使う危険な場面もあったけど、以前に勉強したKYTを活かし、安全にできる事ができました。また、普段会えない、人たちの交流があったので、とても楽しい野外炊事となりました。

これらの経験を活かして、これからの生活に活かしていきたいと思いました。

平成28年度 第44回 関東甲信越静地区子ども会 ジュニア・リーダー研修大会

・期日 平成28年8月5日(金)～7日(日)

・会場 埼玉県「大滝げんきプラザ」

初参加の関ブロ

妙高市ジュニア・リーダーズクラブ

中一 坂田 真那実

私は、今回初めて関ブロに参加しました。三日間過ごした中で、特に楽しかった活動がいくつかあります。

一つ目は、にようりんピックという、ミニ運動会です。班の人たちと協力する機会を作ることができたし、とても楽しむことができました。

二つ目は、キャンプファイヤーです。自分の知らないレクリエーションをたくさん知れました。これから使ってみたいというものが見つかり良かったです。

三つ目は、後夜祭です。「ナイトーク」といわれるものをしました。自分の地域のことや、他の人たちの活動を伝えあえたので、楽しかったです。

四つ目は、夜食です。同じ部屋の人と夜食を食べながら、色々な話を話せて嬉しかったです。

このように、たくさん活動を初体験することができました。これから生かしていけるものも多く見つかりました。それを自分の地域に広めて、もっと充実した活動がしたいと思いました。

関ブロを終えて

頸城ジュニア・リーダーズクラブ

高一 森田 爽斗

私は、今回、初めて関ブロに参加し、初めて他県のたくさん



のジュニア・リーダーたちと交流して、特に学べたことが三つあります。

一つ目は、他県の特徴的なレクリエーションです。自分たちの県では見たことも無かった多種多様な楽しいレクリエーションを見たり、聞いたり、実際にやってみたりして、たくさん知って、持ち帰れたのでとてもいい経験になりました。

二つ目は、いたごちです。私たちの地域の活動では、いたごちのレクをやっていないだったので、食事の度に個性的ないたごちを見ることができて、最終日には自分たちの班オリジナルのいたごちを作って、楽しく食事ができてよかったです。

最後に三つ目は、自分についてです。関ブロで一番受けた印象は、「個性のぶつかり合い」のような感じでした。そのすばらしい人たちの中に自分自身が入って、いっしょに活動できたことが本当に良かったと思います。

今回の関ブロは、初めてだけでなく、学びの連続のとても貴重な経験になって本当に楽しかったです。

県外JLとの初交流

頸城ジュニア・リーダーズクラブ

高一 林 珠那

私は、今回埼玉県で開催された関ブロ大会に初めて参加してきました。新潟県以外のJLと交流することはいままでなかったため、とても緊張をしていました。しかし、その分たくさん学べたことを学び、吸収することができたと思います。

その中で、特に私が印象深く残っていることがあります。それは、自分の地元を他の地域のみんなに知ってもらいたいという意思です。参加した各県

それぞれに様々な個性があり、他県に伝えたい、届けたいという気持ちをもった皆さんの参加者から感じました。

例えば、レクリエーションでは同じ名前であるのに内容は全く異なっていたり、その逆もあったりと新しい発見をJLが発信していくことで見つけることができました。このおかげで固定されていた視野が一気に広がり、JLの活動が地域にどんな影響があるのか、違う視点で考えるとうなかなとさまざまなことをとても考えさせられるものでした。

今回参加したこの三日間は忘れ



られない良い思い出になりました。またこの経験を思い出だけでなく、実践して役立てていきたいです。

関ブロに参加して

頸城ジュニア・リーダーズクラブ

高一 笠原 結夏

私は、今回初めて関ブロに参加して直前まで緊張と不安でいっぱいでした。でもいざ始まってみると学べることがとても多かったです。私が、今回の関ブロで学んだことはたくさんありますが、特に大切だなと思ったことは二つあります。

一つ目は、自分から動くことの大切さです。今回、地元でなく他県での活動だったので自分から自分のことを広めていかなければ誰かと仲良く話すことができなかったのも理由の一つです。

二つ目は、チームの人と協力するための協調性です。いろいろな県からたくさんの方が集まっていたので、意見がくいちがったりすることもしばしばありましたが代表を出したりまぜたりとチーム全体でやんで協力して解決することができました。

私は、今回の関ブロで多くのことを学ぶことが出来ました。また、人とのつながりも得ることができとても参加してよかったと思います。これから、今回学んだことをジュニアの活動だけでなくいろいろなことに活かしていきたいと思います。

平成28年度 全国シニア・リーダー研修会

・期日 九月十八日(日)～十九日(月)
・会場 東京オリンピック総合記念センター

活動を少しでも良くしたい

南魚沼市シニア・リーダー 秋山 彩風

去年に引き続き、全国シニア・リーダー研修会に参加しました。初めて参加する人が大半で、前回の続きみたいな内容なのかなと思って参加しましたが、前回も説明してくださった内容について少し説明があったので良かったと思います。

この研修会で学んだことや思ったことが三つあります。

一つ目は、アイスブレイクにも種類があり、順序があることです。自己紹介ゲームをして、仲良くなるためのゲームをするってことでいいのではないかなと思いました。しかし、出会い、親睦、きずな作り、信頼、協力ゲームという種類があり、行う順番があることを初めて知ることが出来ました。そして、レクリエーションは出来なければいけないというように



間がつくれないと思う

たくさん覚えさせられ、実践させられました。そのことについて特に不思議には覚えなかったのですが、戦後からの歴史の七十年以上変わらないレクリエーションを覚え、今の子どもたちに合ったレクリエーションをしていないのだと話をされて納得してしまいました。レクリエーションや遊びに関しての研究を進めていくことや、昔から日本にあるじゃんけんは万能なのだと思います。



二つ目は、安心して学べる環境をつくることという考え方です。今回の内容であるプロジェクト・アドベンチャーでは、自分が存在していると思ってもらふことと仲間がつくれないと思う

意識を変えようと言う、今の子どもたちに必要じゃないか、大事じゃないか、と思う要素があることがわかりました。今の子どもたちは、包丁を握ったことがなかったり、裁縫をしたことがなかったり、一人で留守番が出来ないのだという話をよく聞きます。子どもも会自体が子どもたちの成長や体験が出来る場所、生活技術を獲得する場所ではないかと思っています。それにプラスして、その子ども一人一人の個性や長所を伸ばし、短所を長所にし、居場所を作る役割があるのではないかと思います。



三つ目は、南魚沼市ジュニア・リーダースクラブは、このままじゃ絶対にダメだと改めて思ったことです。現にジュニア・リーダーはいるかもわかりませんが、活動や募集はありません。そして、シニア・リーダーという位置付けにしているのは自分しかないため実質、今の南魚沼市ジュニア・リーダースクラブには自分しかないのではないかなと思っています。その中でジュニア・リーダーを育てるとか、シニア・リーダーの役割がどうだとか、そんなことの前にしないといけないことが多いのだと思います。今の子どもたちは絶対に子ども会に入らなければならぬわけではありませんが、子ども会というものを知らない子のほうが多いのも実状です。そして、危ないことはさせないようになつてしまった世の中で子どもたちが生きていくのに知らないことが凄くたくさんあります。そこを含めてジュニア・リーダーの募集をすること、子ども会に認知を広めることが大事ではないかと思っています。

自分は、ジュニア・リーダーに入っているいろいろなことを教わってきたのだと、改めて考えさせられ、自分も南魚沼市ジュニア・リーダースクラブも指導者も課題がたくさんあるのだと再認識することが出来たのではないかなと思いました。その上でもっと意味ある南魚沼市ジュニア・リーダースクラブにしたいと思っています。



最初に、県子連の須田会長より開会のあいさつと、講師の武士侯様・伊野様の紹介をして頂き、講習会に入りました。最後に、閉会のあいさつを岡田が行い、講習会をとおじさせていたたきま



子ども会KYT初級指導者養成講習会 (体験活動推進員養成講習会)

妙高市子ども会連絡会会長 岡田 政枝

・期日 七月十日(日)
・会場 上越市民プラザ

(はじめに)

平成二十八年七月十日に上越市民プラザを会場に「平成二十八年度子ども会KYT指導者養成講習会及び体験活動推進員養成講習会」が開催されました。

KYT指導者養成講習会の講師に新潟県子ども会育成連合会顧問 武士侯昭司様、体験活動推進員養成講習会に国立妙高青少年自然の家所長 伊野巨様を講師にお迎えし、十六名の人が受講されました。

(1)「体験活動推進員養成講習会」のプログラム

ア 青少年の現状の課題及び体験活動の意義
イ 教育基本法の改正からみえる教育の動向
ウ 現代的な教育課題と子どもたちの体験の実態
エ 青少年の問題と現代的な教育課題
オ 学校教育・青少年教育の体験活動の意義
カ 子ども会活動における体験活動の意義
キ 体験活動を通じた集団と個の成長について

(講習から)

・「体験活動」とは

体験を通じて何らかの学習が行われることを目的として、体験する者に対して意図的・計画的に提供される体験

・「体験活動推進員」とは

体験活動のすそ野を広げ「体験の風をおこそう」運動の推進役としての活動

(2)「子ども会KYT指導者養成講習」のプログラム

ア 危険(K) 予知(Y) トレーニング(T)とは

イ 安全・危険・事故とは
ウ 備えあれば憂いなしで備えても事故は起きるか

エ 危険予知は、危険を知ることから子ども会がKYTを取り入れた経緯
カ KYT4ステップ体験学習

第一ステップ「危険の発見」

第二ステップ「これが危険のポイント」

第三ステップ「あなたならどうする」

第四ステップ「私たちはこうする」

キ 確認 やる気実践されてこそ

はじめてKYTだ

ク 危険予知活動の例

ケ 今、子ども会から発信しよう！

(講習から)

・危険予知訓練は、安全に活動する為の手段

・訓練を学習することで現場対応力を身に付けられる。

・「安全とは」危険を少なくする事

・事故を起こさない事であり、危険はなくならないことから、危険を事故に結びつけず、危険を予知し危険を回避することが大切

・人は残念ながら「ミス」をする

・若手意識やうっかりから生じる「ミス」もある

・事故は起こってからでは遅い

①危険を見つけ ②見つけた危険から最も重要な危険を絞り込み

③その予防策・防止策を考え ④事故防止のための行動目標を立てる…というふうに4ス



・「安全とは」危険を少なくする事
・事故を起こさない事であり、危険はなくならないことから、危険を事故に結びつけず、危険を予知し危険を回避することが大切
・人は残念ながら「ミス」をする
・若手意識やうっかりから生じる「ミス」もある
・事故は起こってからでは遅い
①危険を見つけ ②見つけた危険から最も重要な危険を絞り込み
③その予防策・防止策を考え ④事故防止のための行動目標を立てる…というふうに4ス

テップを使い段階的に理解をさせる
・単純に「危ない」からではダメであるということがよく理解でき、子どもも指導する上で大変重要なポイントでもある。
今後は、この講習で学んだことを踏まえ、さらに進んだ安全教育ができるようにしたい。そして、指導者へは「危険予知訓練」の知識を広め、子どもたちへも危険に対する意識を高めさせ、様々な活動に生かしていくようにしたい。危ないから止めるのではなく、子どもの成長のためには、危険に対する正しい知識と対策で、責任を持ち、危険に気づき回避し、できるだけ危険を少なくして活動していくようにする。

(おわりに)

子ども会活動で、色々な体験活動を通して、自立・自律した青少年を育てるために、指導者・育成者、一人一人の特技・持ち味を出して、それぞれの立場で子どもたちの健全育成と一緒に取り組んでいくことを願う。

元気な子どもたちの声がある地域は生き生きしている。



地区別総会のようす

<下越地区>

- ・期 日：平成28年4月9日（日）
- ・会 場：新発田市生涯学習センター
- ・参加者：3名
（新潟市・阿賀野市・新発田市）
- ・議 題
 - 1) 平成27年度事業報告及び決算報告について
 - 2) 平成28年度事業計画（案）及び予算（案）について
 - 3) 平成28年度県子連総会新発田大会準備について
 - 4) 下越地区子ども交歓大会の内容等について
- ・感 想
今年度は県子連総会及び40周年記念式典が下越地区にて開催されるにあたり、協力体制の強化等について確認しました。
- ・その他
 - 1) 下越地区の子ども交歓大会は新発田市の主管で行う。
 - 2) 多くの子どもに参加してもらおうよう話し合う。

<上越地区>

- ・期 日：平成28年5月20日（金）
- ・会 場：直江津駅前 附船屋
- ・参加者：14名
- ・議 題
 - 1) 平成27年度事業報告と決算報告について
 - 2) 平成28年度事業計画（案）及び27年度予算（案）について
 - 3) その他
- ・感 想
上記の通り承認されました。
来賓として、上越市教育委員社会教育課の課長様、青少年育成係の係長様が出席されました。
いろいろ情報交換が行われました。

<佐渡地区>

- ・期 日：平成28年5月31日（火）
- ・会 場：金井コミュニティーセンター
- ・参加者：20名
- ・議 題
 - 1) 平成28年度役員選出について
 - 2) 平成28年度事業計画（案）について
 - 3) 平成28年度予算（案）について
 - 4) 共催事業について
 - ・夏休み親子工作教室
 - ・平成28年度新潟県少年主張大会
～わたしの主張～
佐渡地区大会の共催について
 - 5) 新潟県子ども会育成連合会
「県子連だより」の執筆順について
 - 6) 全国子ども会安全共済会について
 - 7) その他
- ・感 想
議題について、すべて承認されました。
役員より「各地域子ども会で、横の連携をとって繋がりをもちたい」という意見など、子ども会のことについて話し合われました。

<中越地区>

- ・期 日：平成28年5月8日（日）
- ・会 場：長岡市さいわいプラザ
- ・参加者：13名
- ・議 題
 - 1) 平成27年度活動経過報告及び事業報告
 - 2) 平成27年度決算報告及び監査報告
 - 3) 平成28年度事業計画（案）について
 - 4) 平成28年度予算（案）について
 - 5) その他
- ・感 想
中島地区と小国地区の子ども会の長岡市子連について検討し、小国地区は今年度中に長岡市子連に入ることとする。中之島地区は更に検討することとしました。
- ・その他
今年度は県子連が法人化という事で中子連の会長は留年とする。今後は持ち回り等を検討する。



遊びのひろば in 小千谷

健やかな子どもたちの日

新潟県子ども会育成連合会 副会長 梶澤 政晴

信濃川を挟み、広がる小千谷市。錦鯉の里として知られ、四尺玉花火の片貝、そして闘牛の地、山に川に自然に恵まれ、四季折々に楽しめる小千谷市。そんな小千谷市は今年六十年を迎えました。その小千谷市で開催された今回の「遊びのひろば」は、小千谷公民館七十年と新潟県子ども会育成連合会が四十周年を迎えたことを記念して、一年前から両者で話し合いを重ね、六月十九日に開催することが出来ました。

当日は県内の県子連加盟の八つの子ども育成団体が参加し、小千谷市東体育センターを会場に小千谷の子どもたちを迎える準備を整えました。小千谷市には八つの小学校



があり、小千谷小学校の九百人余りの児童を中心に、全市で一、八六八人の児童が学校に通っています。

多くの子どもたちの参加を期待し、参加した小国町からは「作ろう！エコノート」。三条市は「おりがみ、紙トンボ、カムル」。南魚沼市は「ガラス絵の具」。妙高市は「スライム」。加茂市は「バルーンアート」。柏崎市は「手づくり工作」。新潟市からは「紙飛行機」。そして長岡市からは「キラキラシャボン玉」と各団体が

それぞれの特色を出して子どもたちを待ちました。また、県子連として積み木を用意し、あそびの手助けをしました。

当日は、天気にも恵まれ、十一時の開場を待たずに子どもたちが会場に、現れ始めました。それぞれ目安の遊び場を目指して飛んでいきます。私はキラキラシャボン玉を担当していました。キラキラシャボン玉は色紙

を細く切ったものを串に四本の色紙を丸くした状態にして、それを回転させるとシャボン玉のようにキラキラと見えます。子どもたちが必至に挑戦し、完成したときの目の輝きを見ると私自身も感動します。

今回も子どもたちが実際に作成することができ、楽しい一日になったのではないのでしょうか。毎回参加して感じることは積み木で遊んでいる子どもたちの発想力に感心させられます。



これを機に小千谷市の子ども会がさらに発展することを願っています。

今年、小千谷市に市民の家・小千谷信濃川水力発電館（おちゃーる）が開館しました。

体験型の宿泊施設でいろいろな体験

によって開催されることもあります。この事業は中越大地震の後、地域の復興と子どもたちの笑顔を取り戻そうと全国から寄せられた基金によって始めた事業です。あの大地震から十二年、大きな被害を受けた小千谷市で開催できたことは意義のある事でしょう。



が期待できるのではないのでしょうか。この場所をお借りして、来年度のジュニア・リーダー中級研修会を考えています。これから専門部、指導部でどの様なことができるのか検討していきたいと考えています。

今回の「遊びのひろば」も各団体の協力と小千谷市の子どもたち四〇〇人以上の参加があり、成功の裡に終わることが出来ました。また、来年も子どもたちの笑顔を力に県子連加盟の団体は協力して頑張りたいと思います。

現在、小千谷市には子ども会の連

おめでとうございます 全子連表彰

(1) 期 日

平成29年2月17日(金)

(2) 会 場

久留米シティホテル
〒830-0031

福岡県久留米市六ッ門町8-1

(3) 受賞者・団体

○個人表彰(指導者・育成者)

・上越市 瀧本 晴夫(表彰状)

瀧本 正江(感謝状)

○団体表彰(子ども会)

・該当なし

◆今後の予定◆

【平成二十八年】

・佐渡地区子ども交歓大会

十一月二十七日(日)

サンテラ佐渡スーパリアーナ

・創立四十周年記念誌原稿め切(各市町村より)

十一月二十日(水)

実行委員会事務局へ

・第二回県子連理事会

十一月三日(土)

長岡市さいわいプラザ

・新潟市子ども会連絡協議会創立

四十周年記念式典

十一月四日(日)

黒崎市民会館

・関フロ子ども会推進研究会

十一月四日(日)～五日(月)

全子連ビル

・関フロ子どもKYT中級研修会

十一月十日(土)～

十一月十一日(日)

国立オリンピック総合記念センター

【平成二十九年】

・関フロ連絡協議会 会長・事務担

当者会議

一月十五日(日)～十八日(月)

国立オリンピック総合記念センター

・全国子ども会中央会議 研究会議

二月十七日(金)～十九日(日)

福岡県「久留米市シティプラザ」

・第三回県子連理事会

三月五日(日)

大畑少年センター

・県子連だより第二二三号発行

三月十日(金)

・第三回JL中級研修会

三月十八日(土)

長岡市千手コミュニティセンター

県民フォーラムニオー六

・期日 十月二十九日(土)

・会場 県立生涯学習推進センター

積み木

きらきら
シャボン玉

一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会 E-Mail n-kodomo@sage.ocn.ne.jp

あとがき

○街路樹の木々も色づき、秋が身近に感じられる十月二十二日・二十三日に、新潟市大畑少年センターで第二回県子連ジュニア、リーダー中級研修会が行われました。参加者の感想には、新潟の古町近辺の散策やKYT講習会などが思い出深かったです。

○十一月十九日(土)には、県子連創立四十周年記念事業が新潟市の「じよいあす新潟会館」で行われました。ご来賓の皆様をはじめたくさんの方の皆様の参加をいただき盛大に開催されました。

これを一つの区切りとして、これまでの歩みに感謝し、新たな県子連づくりに取り組む決意を共有する機会となりました。

○県子連だよりの原稿をお寄いただきました皆様、心より御礼申し上げます。

(文責：板垣)

編集発行 一般社団法人

新潟県子ども会育成連合会

〒九五一八三三

新潟市中央区白山浦一三〇〇

電話 〇五一一三〇一五九八

FAX 〇五一一三〇一五九二